

## 二 体験的学習の充実を図る

(一) 実験・実習などの体験的学習を中核として、指導の充実を図るとともに、プロジェクト学習の推進に努める。

(二) 海洋実習・乗船実習においては、季節や天候など自然の制約をうけることが多いことから、特に、綿密な計画に基づいて、事態に対応できるように十分配慮するとともに、指導体制の確立に努める。

## 三 指導力の向上を図る

専門教科・科目について、より高い知識・技術の進歩に対応しうる産業技術の研修につとめるとともに授業研究等の現職教育の強化推進につとめる。

## 四 職業資格取得の指導の充実強化を図る

各種資格の取得は、生徒に目的意識を持たせ、学習意欲の向上に役立つので、一層の指導の強化を図る。

# 工業

科学技術の進歩や生徒の多様化に因應、工業教育をより一層魅力あるものとするために、次の諸点について努力する。

## 一 各学科の教育課程・教育内容の改善充実を図る

(一) 教育課程の編成に当たっては、選択科目やコース制を設けるなどして、生徒の適性や進路等にあわせて特色ある教育課程の編成に努める。

(二) 社会経済の変化を展望し、これらの変化に因應する新しい「基礎・基本」の確立をめざすとともに、これを確実に習得させるよう努める。

(三) 専門教育の水準を維持しながら、多様な生徒の個性の伸長をめざした教育内容の精選と構造化に努める。

## 二 実験・実習の改善充実を図る

(一) 各学科の目標に照らし実験実習の内容の精選と重点化を図り、実際の作業を通して総合的に習得させ、応用と創造の望ましい態度を育てる。

(二) 施設設備の整備を行い、その有効利用を図るとともに、安全教育や公害に関する教育の徹底に努める。

## 三 工業基礎科目の改善充実を図る

(一) 「工業基礎」は、工業の各分野の基礎的な技術を実習により体験させ興味と関心を高め、広い視野を養うとともに、工業技術の基礎的な諸問題について認識を深める。

(二) 「工業数理」は、工業の各分野における具体的な事象を生徒の身近な題材を用いて、実測・作図・計算等の作業を取り入れ、数理的・実地的に処理できる能力の育成に努める。

## 四 情報技術教育の改善充実を図る

電子技術の発達に伴い先端技術産業の成長や生産システムの変革が急速に進展している。このため工業の全ての学科で基礎的な電子技術や情報技術教育を行うとともに、専門教育との有機的な融合化に努める。

## 五 学習指導の向上に努める

(一) 校内研修を中核として、組織的・継続的に研究実践をすすめ、学校並びに教師の教育力の向上に努める。

(二) 座学や実習の内容に応じた、一斉学習、個別学習、個別学習などの学習形態の工夫や学習効果を高めるための座学と実習の融合化に努める。

(三) 多様化した生徒の能力や適性の伸長をめざすために、基礎教育における指導の個別化や発展的学習における学習の個性化に努める。

(四) 自主的研究団体の研究会にも進んで参加し、産業界や各種研究機関の研修会も効果的に活用して、常に専門的知識技術の向上に努める。

# 商業

学習指導要領の趣旨をふまえ、時代の進展に対応した特色ある学科づくりに積極的に取り組むことが、これからの課題である。

そのため、今日の社会における情報化、サービス経済化、国際化の進展に対応した、教育課程の一層の改善・充実を図って、専門学科としての魅力をさらに高めるように努める。

## 一 基礎的・基本的な内容の充実を図る

(一) 能力や適性等の多様な生徒が入学している実態から、生徒一人一人の理解に努め、個々の生徒の到達度に応じた指導を行う。

(二) 商業教育の基礎的・基本的な内容を取り扱う科目等の学習指導に当たり、これらの基礎学力が、その後の発展的な学習への十分な転移力となり得るよう、指導計画と展開方法を吟味し、改善に努める。

## 二 指導内容・指導方法について改善を図り、学習意欲を高めるように努める

(一) 指導内容の精選、重点化を図るとともに、教育機器を積極的に活用し